

全員協議会資料

○路線バス「浜厚真駅線」の現状と課題について

令和8年6月24日
まちづくり推進課企画調整グループ

1 路線の概要

浜厚真駅線は、令和6年8月に上厚真地区から苫小牧市内への高校生通学支援のため、住民要望により新設されたあつまバス運行の路線である。平日のみの運行で、上厚真 7:06 発、浜厚真駅前 7:15 着の朝便となっている。

バス停	時刻
上厚真	7:06
上厚真駐在所前	7:07
漁業団地前	7:08
浜厚真駅前	7:15

2 設置時の目的と実績の乖離

本路線は高校生の通学支援を目的として開設されたが、令和6年8月16日以降174日間の利用者数は7人にとどまり、平均0.04人/日という極めて低い実績となっている。

この低迷の要因としては、利用料金の負担感や、当初要望のあった対象生徒の卒業に伴うニーズの変化が考えられる。加えて、高校生の通学の足に関するニーズは世代交代に伴う流動性が高く、実際には保護者送迎のほうが経済的に効率的と判断されるケースもある。こうした状況から、当初想定された利用需要が十分に顕在化していないものと考えられる。

3 本路線の課題と今後の方向性

現時点における本路線の課題は以下のとおりである。

- ・利用実績の低迷： 平均0.04人/日は、路線維持の合理性を認め難い水準
- ・財政負担： 年間361千円（令和7・8年度）に対し利用実績が著しく低い
- ・事業者からの打診： 見直し検討の申し入れあり

一方で、浜厚真駅を起点とする公共交通は、通学支援のみならず、地域住民の生活交通・JR利用との接続という観点からも一定の意義を有しており、将来的な路線のあり方については、引き続き地域公共交通活性化協議会等の場で検討を継続する。

現時点では、利用実態や地域ニーズの変化を継続的に把握しながら、将来的な見直し（廃線を含む）を視野に入れた検討を進めることとしたい。

なお、本路線の現状については、令和8年3月24日開催の第49回厚真町地域公共交通活性化協議会でも報告済みである。